

# SDGs未来都市等進捗評価シート

2020年度選定

沖縄県石垣市

2021年8月

**SDGs未来都市計画名**

石垣市 SDGs未来都市計画  
自然と文化で創る未来 ～守り・繋ぎ・生きる島 石垣～

**自治体SDGsモデル事業**

石垣SDGsプラットフォームを活用した「離島におけるSDGs課題解決モデル（＝石垣SDGsモデル）」構築事業

## 1. 全体計画（2030年のあるべき姿）

## (1) 計画タイトル

石垣市 SDGs 未来都市計画 自然と文化で創る未来 ～守り・繋ぎ・活きる島 石垣～

## (2) 2030年のあるべき姿

石垣市は、市民の生活模範、心のよりどころとして「石垣市民憲章」を制定した。市民の行動規範であるこの市民憲章が目指す姿は、SDGsにおける2030年に達成する目標と親和性が高い。また、市民憲章が既存の市民社会の活動も反映していることから、既存の活動計画と調和する。よって石垣市民憲章をSDGsのターゲットと書き換え、2030年のあるべき姿とする。①一人一人の力によるまちづくりの輪の拡大 ②信頼、安心、親切にあふれた市民の創出 ③希望をいただき、教養と健康に恵まれた市民の創出 ④自然と文化を愛し、創造する市民の創出 ⑤連帯と協働の精神にささえられた意欲ある市民の創出

## (3) 2030年のあるべき姿の実現へ向けた優先的なゴール



## (4) 2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況

No	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	当初値	2020年（現状値）	2030年（目標値）	達成度（%）
1	全事業所数に対する石垣SDGs認証を取得する事業所数の割合【8.2】	2020年2月 0%	2020年度 0%	2030年 10%	0%
2	従業者数【8.5、8.6】	2016年 19,879人	2016年 19,879人	2030年 23,111人	データなし
3	農産物の生産額【2.3、2.4】	2016年度 3,003百万円	2018年 3,334百万円	2030年 3,735百万円	45%
4	石垣市とSDGsの取り組みを通して繋がった国の数【17.7】	2020年2月 3ヶ国	2020年度 2ヶ国	2030年 30ヶ国	-3%
5	SDGsをテーマとして開催される会議数【16.6、16.7】	2020年度 14件	2020年度 14件	2030年 24件	0%
6	石垣市が主催する初等中等教育の拡充に資するプログラム受講者のうち就業に至った人数【4.4】	2020年2月 23人	2020年度 26人	2030年 35人	33%
7	文化保全教育プログラムの作成・実施数【4.3】	2020年2月 13件	2020年度 15件	2030年 15件	100%
8	総人口に占める公共交通域内人口の割合【9.1、11.2】	2020年2月 63.6%	2020年度 79.1%	2030年 90%	58%
9	女性コミュニティによるSDGs関連活動の参加者数【5.1、5.4、5.5、5.6】	2020年2月 200人	2020年度 0人	2030年 1,200人	データなし
10	在留外国人と地域住民との意見交換会の実施回数【10.2、10.3、10.4】	2020年2月 2回	2020年度 0回	2030年 6回	-50%

## 1. 全体計画（2030年のあるべき姿）

No	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	当初値	2020年（現状値）	2030年（目標値）	達成度（%）
11	金融教育を受けた貧困・生活困窮者の人数【1.2】	2020年2月 0人	2020年度 5人	2030年 30人	16%
12	赤土流出防止対策の実施延長【14.4】	2020年2月 3,898 m	2020年度 4,767 m	2030年 400 m	-24%
13	サンゴ保全教育を実施した学校数【14.4】	2020年2月 8校	2020年度 6校	2030年 24校	-12%
14	資源ごみ（ペットボトル・キャップ、発砲スチロール、容器プラ）の回収量【12.4】	2019年4月 780.98 トン	2020年度 603.8 トン	2030年 780 トン	77%
15	漂着ごみ回収活動の実施回数【12.8】	2019年3月 306回	2020年度 379回	2030年 300回	126%
16	漂着ごみ回収活動の参加人数【12.8】	2019年3月 4,253人	2020年度 3,992人	2030年 4,200人	95%
17	住民1人1日当たりのごみ排出量（生活系ごみ）【12.2、12.5】	2017年4月 671 g	2020年度 702 g	2030年 641 g	-103%
18	事業系ごみの排出量【12.2、12.5】	2020年2月 11,512 トン	2020年度 8,332 トン	2030年 13,373 トン	62%
19	CO <sub>2</sub> 排出量【7.2、7.3、13.1】	2016年10月 40.5万 t-CO <sub>2</sub>	2018年 40.7万 t-CO <sub>2</sub>	2030年 30.0万 t-CO <sub>2</sub>	-1%

## (5) 「2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況」を踏まえた進捗状況や課題等

・全事業所数に対する石垣SDGs認証を取得する事業所数の割合については、運用に向けて制度の構築や試用運用を行った。試用運用の際に出た課題等を再度検討し、今年度は運用に向けて進めていく。

・石垣市が主催する初等中等教育の拡充に資するプログラム受講者のうち就業に至った人数は、講座の充実や情報発信を行い、増加している。目標達成に向けて、講座の継続や普及の推進を行っていく。

・女性コミュニティによるSDGs関連活動の参加者数については、数値としてあげているまるざーフェスティバルが1年ごとの開催であるため、数値としては出ていないが、令和3年度の開催に向けて勉強会や準備を行った。

・在留外国人と地域住民との意見交換会の実施回数は、コロナ禍の影響で開催することが困難だったが、効果的な開催方法を検討していく必要がある。

・漂着ごみ回収活動の実施回数・参加人数は、地域の方々の意識向上やSDGsの普及により、増加傾向である。人数の減少については、団体より個人で活動される方の増加が考えられる。今後も多様な主体と連携して取り組んでいきたい。

・サンゴ保全教育を実施した学校数は、コロナ禍の影響があり、減少したと考えられる。安定して学習の機会を設けるよう開催方法の工夫や予算の確保を行い、他との連携において目標数の開催を実現していきたい。

・石垣SDGs認証の推進情報発信・啓発については、市の広報誌、ホームページ等での周知を積極的に行い、SDGsに関する問合せ等が増加している。今後も多様な主体と連携し、効率的な周知活動を行っていきたい。

## 1. 全体計画（自治体SDGsの推進に資する取組）：計画期間2020年～2022年

## (1) 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況

No	取組名	指標名	当初値	2018年実績	2019年実績	2020年実績	2022年目標値	達成度(%)
1	自然資源を活用した持続可能な観光のもと、地域の産業（農業・水産業等）の成長を促進し収益を拡大させる	全事業所数に対する石垣SDGs認証を取得する事業所数の割合	2020年2月 0%			2020年 0%	2022年 3%	0%
2	自然資源を活用した持続可能な観光のもと、地域の産業（農業・水産業等）の成長を促進し収益を拡大させる	従業者数	2016年6月 19,879人			2016年 19,879人	2022年 21,261人	97%
3	自然資源を活用した持続可能な観光のもと、地域の産業（農業・水産業等）の成長を促進し収益を拡大させる	農産物の生産額	2016年度 3,003百 万円			2018年 3,334百 万円	2022年 3,237百 万円	141%
4	島の自然環境や文化をまもりながら、誰一人取り残さず、全ての人が安心・安全・いきいきと住み続けられるまちとする	石垣市が主催する初等中等教育の拡充に資するプログラム受講者のうち就業に至った人数	2020年2月 23人			2020年 26人	2022年 27人	75%
5	島の自然環境や文化をまもりながら、誰一人取り残さず、全ての人が安心・安全・いきいきと住み続けられるまちとする	文化保全教育プログラムの作成・実施数	2020年2月 13件			2020年 15件	2022年 15件	100%
6	島の自然環境や文化をまもりながら、誰一人取り残さず、全ての人が安心・安全・いきいきと住み続けられるまちとする	総人口に占める公共交通域内人口の割合	2020年2月 63.6%			2020年 79.1%	2022年 68.9%	292%
7	島の自然環境や文化をまもりながら、誰一人取り残さず、全ての人が安心・安全・いきいきと住み続けられるまちとする	女性コミュニティによるSDGs関連活動の参加者数	2020年2月 200人			2020年 0人	2022年 400人	97%
8	島の自然環境や文化をまもりながら、誰一人取り残さず、全ての人が安心・安全・いきいきと住み続けられるまちとする	在留外国人と地域住民との意見交換会の実施回数	2020年2月 2回			2020年 0回	2022年 3回	-2%
9	島の自然環境や文化をまもりながら、誰一人取り残さず、全ての人が安心・安全・いきいきと住み続けられるまちとする	金融教育を受けた貧困・生活困窮者の人数	2020年2月 0人			2020年 5人	2022年 16人	31%

## 1. 全体計画（自治体SDGsの推進に資する取組）：計画期間2020年～2022年

## (1) 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況

No	取組名	指標名	当初値	2018年実績	2019年実績	2020年実績	2022年目標値	達成度(%)
10	自然資源を活用した持続可能かつ強靱で競争力のある観光を実現するため、自然環境保全と資源管理を進めるとともに、環境負荷を軽減する	赤土流出防止対策の実施延長	2020年2月 3,898 m			2020年 4,767 m	2022年 3,000 m	-96%
11	自然資源を活用した持続可能かつ強靱で競争力のある観光を実現するため、自然環境保全と資源管理を進めるとともに、環境負荷を軽減する	サンゴ保全教育を実施した学校数	2020年2月 8 校			2020年 6 校	2022年 11 校	-66%
12	自然資源を活用した持続可能かつ強靱で競争力のある観光を実現するため、自然環境保全と資源管理を進めるとともに、環境負荷を軽減する	資源ごみ（ペットボトル・キャップ、発砲スチロール、容器プラ）の回収量	2019年4月 780.98 トン			2020年 603.8 トン	2022年 780 トン	77%
13	自然資源を活用した持続可能かつ強靱で競争力のある観光を実現するため、自然環境保全と資源管理を進めるとともに、環境負荷を軽減する	漂着ごみ回収活動の実施回数	2020年2月 306 回			2020年 379 回	2022年 305 回	124%
14	自然資源を活用した持続可能かつ強靱で競争力のある観光を実現するため、自然環境保全と資源管理を進めるとともに、環境負荷を軽減する	漂着ごみ回収活動の参加人数	2020年2月 4,253 人			2020年 3,992 人	2022年 4,242 人	94%
15	自然資源を活用した持続可能かつ強靱で競争力のある観光を実現するため、自然環境保全と資源管理を進めるとともに、環境負荷を軽減する	住民1人1日当たりのごみ排出量（生活系ごみ）	2020年2月 671 g			2020年 702 g	2022年 665 g	-516%
16	自然資源を活用した持続可能かつ強靱で競争力のある観光を実現するため、自然環境保全と資源管理を進めるとともに、環境負荷を軽減する	事業系ごみの排出量	2020年2月 11,512 トン			2020年 8,332 トン	2022年 13,373 トン	62%
17	自然資源を活用した持続可能かつ強靱で競争力のある観光を実現するため、自然環境保全と資源管理を進めるとともに、環境負荷を軽減する	CO <sub>2</sub> 排出量	2016年10月 40.5万 t-CO <sub>2</sub>			2018年 40.7万 t-CO <sub>2</sub>	2022年 36.2万 t-CO <sub>2</sub>	-4%

## 1. 全体計画（自治体SDGsの推進に資する取組）：計画期間2020年～2022年

## (1) 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況

No	取組名	指標名	当初値	2018年実績	2019年実績	2020年実績	2022年目標値	達成度(%)
18	SDGsを共通言語とした連携・協力等による良質な暮らしの創造	石垣市とSDGsの取り組みを通して繋がった国の数	2020年2月 3ヶ国			2020年 2ヶ国	2022年 6ヶ国	-33%
19	SDGsを共通言語とした連携・協力等による良質な暮らしの創造	SDGsをテーマとして開催された会議数	2020年2月 2件			2020年 14件	2022年 12件	120%

## (2) 自律的好循環の形成へ向けた制度の構築等

SDGsの活動に積極的に取り組んでいる事業者やNPO団体などの活動を推進していき、連携して課題に取り組んでいく必要がある。計画では、石垣SDGs認証制度やプラットフォームを柱とし、多様な主体の存在する石垣市においてすべてのステークホルダーに配慮した最適解を導出し、多層化しがちな各主体を包摂的に地域社会に取り込んでいくよう制度の構築に取り組んできた。石垣SDGs認証制度の構築にあたり、他自治体の事例調査やチェックリストの試行を行った。今後は、実施に向けて実施体制や運用方法を整理、調整していく。

## (3) 「自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況」を踏まえた進捗状況や課題等

【再掲】1.全体計画（2030年のあるべき姿）の(5)「2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況」を踏まえた進捗状況や課題等

18 石垣市とSDGsの取り組みを通して繋がった国の数の減少原因としては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による活動の自粛が原因と考える。リモート等を活用するなど効果的な実施方法の模索が必要である。

## (4) 有識者からの取組に対する評価

- ・社会課題をSDGsツールで解決するモデルを目指しているが、具体的手法をいまだ見出していないように感じる。様々な事業実施の中で、早くに手法を作ることが重要である。SDGsプラットフォームの手法が具体的に見えない。専門人材などの外部人材を活用した方が良いと考える。
- ・同規模の他自治体と連携して、進めることも検討が必要である。
- ・SDGsと関連する市民の創出や会議、教育プログラム等についての記述、指標が示されているが、具体的な経済、環境、社会の好循環の取組の検討も必要だと感じる。
- ・多層化しがちな各主体を包摂的に地域社会に取り組んでいく制度の構築について将来の達成目標や、現時点の進捗について説明されたい。
- ・女性コミュニティによるSDGs参加者が2020年度にはコロナ禍の影響か、0人になっているが、これを2022年度目標の400人にするためには、どのような施策を実施するのか説明が望まれる。

## 2. 自治体SDGsモデル事業又

## (1) モデル事業又は取組名

石垣SDGsプラットフォームを活用した「離島におけるSDGs課題解決モデル（＝石垣SDGsモデル）」構築事業

## (2) モデル事業又は取組の概要

島外からの移住者も多く流入し、多様な主体が存在する石垣市において、インフォーマルセクターが取り残される事例や目標は同じでもアプローチが相違するため、意見の対立が見られる場合があり、このような多層化しがちな市民社会を統合、包摂的社会を実現する必要がある。石垣市では、統合的取組み事業として、地域における社会課題をSDGsというツールで解決していく石垣プラットフォームを構築する。多様な主体の存在する石垣市において全てのステークホルダーに配慮した最適解を導出するとともに、多層化しがちな各主体を包摂的に地域社会に取り込んでいく。

## (3) 三側面ごとの取組の達成状況

取組名	取組内容	指標名	当初値	2018年実績	2019年実績	2020年実績	2022年目標値	達成度(%)
【経済】 ①-1 石垣SDGs認証制度構築・運用事業	【取組内容】 石垣SDGs認証制度構築・運用事業	全事業所数に対する石垣SDGs認証を取得する事業所数の割合	2020年2月 0%			2020年度 0%	2022年度 3%	0%
【経済】 ①-3 地域産品のブランディング促進事業	【取組内容】 地域産品のブランディング促進事業	従業者数	2016年6月 19,879人			2016年 19,879人	2022年度 21,261人	79%
【経済】 ①-3 地域産品のブランディング促進事業 ①-4 地産地消推進事業	【取組内容】 地域産品のブランディング促進事業 地産地消推進事業	農産物の生産額	2016年度 3,003万円			2018年 3,334万円	2022年度 3,237万円	141%
【社会】 ②-1 次世代育成支援事業	【取組内容】 ICTを活用した離島における専門人材育成事業	石垣市が主催する初等中等教育の拡充に資するプログラム受講者のうち就業に至った人数	2020年2月 23人			2020年度 26人	2022年度 27人	75%
【社会】 ②-1 次世代育成支援事業	【取組内容】 八重山ミンサー後継者育成事業	文化保全教育プログラムの作成・実施数	2020年2月 13件			2020年度 15件	2022年度 15件	100%
【社会】 ②-2 八重山Maas推進事業	【取組内容】 観光客向け八重山Maas事業の継続実施	総人口に占める公共交通域内人口の割合	2020年2月 63.6%			2020年度 79.1%	2022年度 68.9%	292%
【社会】 ②-3 エンパワーメント推進事業	【取組内容】 女性団体ネットワーク協議会に対するSDGs推進勉強会	女性コミュニティによるSDGs関連活動の参加者数	2020年2月 200人			2020年度 0人	2022年度 400人	79%
【社会】 ②-4 インフォーマルセクター向けプラットフォーム構築事業	【取組内容】 多文化共生事業「多文化交流ゆんたく会」	在留外国人と地域住民との意見交換会の実施回数	2020年2月 2回			2020年度 0回	2022年度 3回	-2%

## SDGs未来都市等進捗評価シート

2020年度

## 2. 自治体SDGsモデル事業又

取組名	取組内容	指標名	当初値	2018年実績	2019年実績	2020年実績	2022年目標値	達成度(%)
【社会】 ②-5 包摂的貧困削減対策事業	【取組内容】 ひとり親家庭生活支援モデル事業	金融教育を受けた貧困・生活困窮者の人数	2020年2月 0人			2020年度 5人	2022年度 16人	31%
【環境】 ③-1 サンゴ礁保全対策等推進事業	【取組内容】 赤土等流出防止対策事業	赤土流出防止対策の実施延長	2020年2月 3,898 m			2020年度 4,767 m	2022年度 3,000 m	-96%
【環境】 ③-1 サンゴ礁保全対策等推進事業	【取組内容】 サンゴ礁、マングローブ林の保全活動に関する支援。補助等	サンゴ保全教育を実施した学校数	2020年2月 8校			2020年度 6校	2022年度 11校	-66%
【環境】 ③-2 海洋プラスチックごみ対策事業	【取組内容】 海岸漂着物分別収集運搬処分業務	資源ごみ（ペットボトル・キャップ、発砲スチロール、容器プラ）の回収量	2019年4月 780.98 トン			2020年度 603.8 トン	2022年度 780 トン	77%
【環境】 ③-2 海洋プラスチックごみ対策事業	【取組内容】 海岸漂着物分別収集運搬処分業務	漂着ごみ回収活動の実施回数	2020年2月 306回			2020年度 379回	2022年度 305回	124%
【環境】 ③-2 海洋プラスチックごみ対策事業	【取組内容】 海岸漂着物分別収集運搬処分業務	漂着ごみ回収活動の参加人数	2020年2月 4,253人			2020年度 3,992人	2022年度 4,242人	94%
【環境】 ③-3 3R促進事業基本計画策定事業	【取組内容】 3R促進事業基本計画策定事業	住民1人1日当たりのごみ排出量（生活系ごみ）	2020年2月 671 g			2020年度 702 g	2022年度 665 g	-516%
【環境】 ③-3 3R促進事業基本計画策定事業	【取組内容】 3R促進事業基本計画策定事業	事業系ごみの排出量	2020年2月 11,512 トン			2020年度 8,332 トン	2022年度 13,373 トン	62%
【環境】 ③-4 再生可能エネルギー導入推進事業	【取組内容】 再生可能エネルギー導入推進事業	CO <sub>2</sub> 排出量	2016年10月 40.5万 t-CO <sub>2</sub>			2018年 40.7万 t-CO <sub>2</sub>	2022年度 36.2万 t-CO <sub>2</sub>	-4%

## 2. 自治体SDGsモデル事業又

## (4) 「三側面ごとの取組の達成状況」を踏まえた進捗状況や課題等

## 【経済面】

全事業所数に対する石垣SDGs認証を取得する事業所数の割合については、運用に向けて制度の構築や試用運用を行った。試用運用の際に出た課題としては、チェックリストの項目について自社の取組が該当するか分からず、判断しづらいという意見や会社の規模で対応可能な範囲が有るとの意見があり、具体的な内容の追加や既存内容の見直しの必要性があると考え。今後は試用運用の際に出た課題等を再度検討し、運用に向けて進めていく。従業員数は経済センサスの活動調査からの数値であるため、令和3年度の結果を踏まえて検証したい。

## 【社会面】

コロナ禍の影響により開催予定であった意見交換会等が開催できず、伸び悩んでいるところであるが、開催方法の工夫を図り、実現していきよう検討していく。

## 【環境面】

サンゴ保全教育を実施した学校数については、コロナ禍の影響による学校活動の制限により、実施校が減少したと考える。実施方法の工夫や予算の確保等について関係機関等と連携し、取り組んでいきたい。地元住民の意識向上やSDGsの普及により、漂着ゴミの回収活動の回数は、向上しているが、1人1人の生活ごみ排出量は、減少していない。ゴミの排出量が減少していないことについては、コロナ禍の影響で、外出する機会が減り、家でのゴミ排出量が増えたことも要因だと考える。ゴミ意識に対するさらなる周知啓発と令和2年度策定した石垣市3R推進計画を推進し、市全体で積極的な取組を展開することを目指す。

## 2. 自治体SDGsモデル事業（三側面をつなぐ統合的取組）

## (1) 三側面をつなぐ統合的取組名

石垣SDGsプラットフォームを活用した「離島におけるSDGs課題解決モデル（＝石垣SDGsモデル）」構築事業

## (2) 三側面をつなぐ統合的取組の概要

石垣市では、統合的取組の事業として、地域における社会課題をSDGsというツールを用いて解決していく「石垣SDGsプラットフォーム」を構築する。多様な主体の存在する石垣市においてすべてのステークホルダーに配慮した最適解を導出するとともに、多層化しがちな各主体を包摂的に地域社会に取り込んでいく。

## (3) 三側面をつなぐ統合的取組による相乗効果

経済⇔環境	経済⇔社会	社会⇔環境
<ul style="list-style-type: none"> <li>●石垣SDGs認証制度の構築・運用に向けて、制度の構築や試行を行ったが、まだ検討する必要があり、運用までは至っていない。認証製品・サービスの売上増加による経済面の効果や環境面においては環境負荷の低減に資する商品という相乗効果の創出に向け、制度の運用を進めていきたい。</li> <li>●コロナ禍の影響により、令和2年度は観光客数は減少しているが、アフターコロナに向け、石垣SDGs認証制度によって認証されたスネークホルダーとのプラットフォームを活用し、健全な海域環境の維持を図りながらリゾート地として観光客の数を元の数値での維持を図りたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●石垣SDGs認証制度の実施に伴い、石垣SDGs認証製品やサービスの売上増加に伴う経済面の効果とそれに伴う新たな雇用創出という社会面での相乗効果の創出が見込まれるので、制度の構築や試行を行った結果をブラッシュアップして、今後の施行に向けて推進していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●民間事業者と連携して、再生可能エネルギーの活用を推進していき、それに伴うCO<sub>2</sub>削減という環境面での効果と関連企業等の経済活動活性化に伴う新たな雇用創出という社会面での相乗効果の創出を図る。</li> </ul>

## (4) 三側面をつなぐ統合的取組の達成状況

No	指標名	当初値	2018年実績	2019年実績	2020年実績	2022年目標値	達成度(%)
1	【経済→環境】【環境→経済】全事業所数に対する石垣SDGs認証を取得する事業所数	2020年2月 0%			2020年度 0%	2022年度 3%	0%
2	【環境→経済】観光客数	2020年2月 1,471,691人			2020年度 644,838人	2022年度 150万人	-29%
3	【経済→社会】【社会→経済】【環境→社会】有効求人倍率	2019年11月 1.8			2020年度 0.9	2022年度 1.8	50%
4	【社会→環境】CO <sub>2</sub> 排出量	2016年10月 40.5万 t-CO <sub>2</sub>			2018年 40.7万 t-CO <sub>2</sub>	2022年度 36.2万 t-CO <sub>2</sub>	-4%

## (5) 自律的好循環の形成に向けた取組状況

石垣SDGs認証制度構築事業の将来的な自走にむけては、制度の積極的な対外アピールを行うことで、SDGsの取組を推進し、ふるさと納税の対象商品や自治体HPへの掲載など従来の通知方法以外の施策の導入等、事業者へのインセンティブ醸成に努めることで、継続的な制度への参画が期待でき、将来的な自走が可能になると考える。

## (6) 「三側面をつなぐ統合的取組の達成状況」を踏まえた進捗状況や課題等

全事業所数に対する石垣SDGs認証を取得する事業所数について、令和2年度は運用に向けて制度の構築や試用運用を行った。今年度は試用運用の際に出た課題等を再度検討し、運用に向けて進めていく。試用運用の際に出た課題としては、チェックリストの項目について自社の取組が該当するかわからず、判断しづらいことや会社の規模で対応可能な範囲の有無との意見があり、内容の追加や既存内容の見直しが必要だと考える。また、認証の判断について、認証する所管課の知識向上や持続的に運用していくためのフォームを固めていく必要がある。観光客数については、新型コロナ感染拡大の影響により、大幅に減少している。本市の主要産業である第3次産業に大きな影響を及ぼすと考えられるが、新たな事業の創出や観光の形を模索し、SDGsを通じて解決していけるよう連携して取り組む必要があると考える。CO<sub>2</sub>排出量については、微増しているので、再生可能エネルギーの推進を引き続き行っていきたい。

## (7) 有識者からの取組に対する評価

・石垣SDGs認証制度導入に向けた具体的な実施を期待する。  
 ・モデル事業については幅広く検討されており、それに関する進捗指標は包括的に検討されているが、地域事業者の認証、ブランド化、人材育成、MAAS、珊瑚対策、海洋プラスチック対策、再生エネルギー、3Rなどについて相互の関連、相乗効果について説明することが必要だと感じる。  
 ・SDGs認証制度において、2022年度の目標としている3%は、具体的にどの程度の組織数なのか。また、3%にするための具体的な施策としてはどのようなものを考えているのか。具体的な取組について記載が望まれる。